

「千日紅市」が、にぎわいました！

10月3日（金曜日）、妙法寺（堀ノ内3-48-3）の境内や周辺の妙法寺門前通り商店会などで、今回が初めてとなる「千日紅市（せんいちこういち）」が開催されました。千日紅市は、商店会が主催したもので、地元小学校の児童や保護者などが協力して、縁日やフリーマーケット、自然観察会などを行なわれ、多くの親子連れなどでにぎわいました。

堀ノ内の厄除け祖師として有名な妙法寺。妙法寺は、江戸の昔から厄除けお祖師様と呼ばれ、遠方からも参拝者が絶えず、特に3の付く日に行われる縁日の日は、門前の商店街も賑わってきました。しかし、最近では参拝者が減り、商店会もかつての活気を失いつつありました。



そこで、百日咲くと言われる「百日紅・サルスベリ」より長く咲くこと

から、その名が付いた「千日紅・センニチコウ」と「おもてなし」をテーマとしたイベントを行うことになりました。商店会や小学校で大事に育てた「千日紅」は、門前の商店会のあちらこちらに飾られ、買い物客の目を楽しませています。千日紅は、妙法寺の落ち着いた雰囲気とよく合います。

「おもてなし」がテーマとなり、まちの人たちの気持ちが大きく変わりました。堀ノ内のまちの良さを多くの人に知ってもらおう、楽しんでもらおうと、買い物客との会話も自然とはずみずみ。

妙法寺境内での千日紅の観察会では、子どもたちが千日紅の絵を描きました。その千日紅の絵を話のネタに、また会話が広がりました。



【報道機関 問い合わせ先】

総務部広報課 03-3312-2111